

出張報告

報告日 令和6年6月5日

会 派 名	暮らしと笑顔
報告者氏名	池野里美
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	地方議員研究会新人議員のための質問・財政基礎研修セミナー動画受講
日 時	R 6 / 5 / 3 1 (金) 1 0 : 0 0 ~ R 6 / 5 / 3 1 (金) 1 6 : 3 0
場 所 (会場)	オンライン
調査項目等	セミナー動画受講
概 要	地方議員研究会新人議員のための質問・財政基礎セミナー 動画受講 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0 「絶対的質問力」 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0 「質問政策虎の巻」 講師：大正大学地域構想研究所客員教授、前京都市会議員 ※別紙、資料添付。
所 感 等	【絶対的質問力】 一般質問の場は、無所属の私にとっては、当局に直接、想いを伝えられる貴重な機会なので、より良い質問が出来るようにと今回のセミナーを受講した。 一般質問作りのポイントは、市民が何に満たされていないのか、徹底的に調べニーズを捉え、時流を掴むこと。世の中はイメージで満ち溢れていることを忘れず、ニュースや新聞報道に惑わされず、イメージと現実の差を埋めていく。同じ出来事でも、立場により正義は色々と異なるが、真実は一つ。そして、質問を作る際に重要なのは、ゴールを明確にすること。「どうするのですか？」でなく、「こうしたい。こうあるべき」と提案型にする。理想をもたない質問は無意味、無責任。質疑とは、人の時間を奪うこと。公共の時間を奪う価値のない質問はご法度という言葉は、心に刺さった。 今回の学びを活かし、これからは、事前調査や準備に更に時間をかけ、市民ニーズや時流を捉えた提案型の質問ができるようにしていきたい。 【質問政策虎の巻】 質問政策の極意は、情報収集に始まり、情報収集に終わる。当局へのヒアリングを徹底するのが基本。当局の方と一度のヒアリングでは難しいので、2・3回はすり合わせをする。今までは、当局の方に遠慮していたが、今後はもっとヒアリングを通してお互いの想いをすり合わせていけるように努力したい。そのためにも、近隣自治体や、

同規模の自治体を調べたり、過去の質疑を調べたり、類似事例の調査をしっかりとし、課題解決策や自分の想いを明確に伝えられるよう努めたい。

今回のセミナーを通して、まずは、市民との意見交換をしてニーズを捉え課題を発見する事。その上で、調査・視察をしたり、議会事務局や担当課へ相談したり、事前準備を入念にして質問を作っていく大切さを感じた。また、質問をした後は、一度きりにせず、その後どうなったか確認し、必要に応じて再度質問をすることも必要。更には、市民へ分かりやすい公報の仕方も工夫していきたいと思う、とても有意義なセミナーだった。